

三田市長 森 哲男 様

すこやかな子どもたちの成長を保障するために 小中学校給食費の無料化を求める署名

長引く不況のもと貧困と格差の広がり、三田の子どもたちにも深刻な影響をおよぼしています。家庭が貧しいために、給食が主要な食事になっている子どもさえ生まれています。

学校給食は、戦後まもなく子どもの栄養状態の改善を目的にはじめられましたが、今日では食育は「食育基本法」によって教育として位置づけられ、国・地方公共団体・国民に対しては食育の推進を「責務」として定めています。

2016年の文部科学省調査によると公立小中学校の保護者が負担する副教材費など義務教育にかかる様々な費用の中で、最も重い負担が学校給食費となっています。

憲法26条は「義務教育は、これを無償とする」と明記しています。この憲法の精神にたてば、学校給食は無償とするのが本来の姿であると考えます。

ここに「小中学校の給食費」の無料化を実施されるよう心より願い、要望します。

<要望事項>

小中学校の給食費を無料にすること。

現行給食費(2019年度)

小学生: 3,900円/月 x 11か月 x 6,200人 = 約2億6600万円/年

中学生: 4,500円/月 x 11か月 x 2,700人 = 約1億3400万円/年

総額、約4億円/年...三田市予算の1%強で実現可能

あたたかい三田民主市政をつくる会

(取り扱い団体: 日本共産党三田市員会)